

話題 其の35: “火曜日に降る雪”

いつもの通り6時の目覚まし時計に急かされて布団を抜け出すと、な、なんと窓の外は、砂漠の国から雪国に旅してきたような風景です。

昨年冬にも積雪があって、休日となったのですが、丁度日本に一時帰国中だったので、私にとってははじめてのヨルダンの積雪です。昨日の天気予想からこの状況が解っていたので、職場のスタッフも「明日の仕事は休みだ〜」と浮かれていました。愛車をガレージから出す術もないので無理をせず、思いがけない休日を報告します。

動いているもの 早朝の外の様子は、動いているものと言えば、強風に巻き上がる粉雪と、煽れて喘ぐ街路樹の枝葉、餌を求めて地面を求める雀たち、そして民家の煙突から上がる白い煙くらいです。

止まったもの いつもなら学校の送迎に使うマイクバスや出勤する人達も今日は見かけません。道路から人が消えました。この分だと交通機関はじめ政府機関、多くの店舗など人々の動きが止まったでしょう。

買い出し 昨日帰宅する時点で、すでに雪が降り始めたので食糧を買い出しに行っておきました。取りあえず、1週間や2週間の食糧は確保してありますが、大所帯で買い出しを忘れた家族など困っているでしょうね。交通機能がストップすると、野菜はじめ食糧の輸送が止まり、雪解け後も日常生活が戻ってくるのには混乱が生じることでしょう。『備えあれば憂いなし』とは言うものの、買い出しを忘れた人達が可哀想です。そして、そこで働くフィリピン、スリランカ、インドネシアなどからきたメイドさん達はちゃんとご飯を食べさせてもらえるだろうか。

午後4時 朝9時を過ぎてようやく子ども達が外に飛び出して、喜んで駆け回り雪合戦を始めました。珍しい雪を楽しむ子ども達の喚声が止まることなく続いています。3持過ぎ、滅多に見られないヨルダンの雪を写真に収めようと外へ出ました。持ち出した30cmの定規が道路の積雪にすっぽり埋まりました。エジプトから出稼ぎに来ているアブ サイドさんと屋上にあるパラボラアンテナの雪かきをしたのですが、5分も外に居ると手や顔がしびれるほどです。

新たな心配 この状況で電柱や送電線に事故が起きると大事です。暖房は厚着で対処しても、炊事が出来なくなると大変です。料理せずに食べられる物、水道が止まっても飲める飲料水には限度があります。私たちの様なリッチ(?)な生活者にはそれでもまだ飢えたり凍えたりする心配は少ないのですが、近頃よく見かけるようになったゴミ箱あさりをしている人達はどのようにしているのでしょうか。

午後8時 粉雪がまだ降り続いています。この分だと“水曜日に降った雪”という報告が出来そうですが、ネタ切れです。

重大事? さて、こうして書き進めている間に、余計に不安なことが増えてきました。差詰め、この雪による状況変化は、アメリカのイラク攻撃への懸念より重大事なのです。まずは、これを書き終わって送信したら、早速シャワーを使っておきますね。(^^)